

## 大連理工大学訪問の報告

岩手大学工学部工学研究科

金型・鑄造工学専攻

小山 裕二

私たちは3月27日に仙台空港を出発し中国の大連へ学生交流を目的として行きました。空港ではお世話になる大連理工大学の徐亮さん、楊琳琳さんが私たちを迎えてくれました。(写真1) 日本語を学んでいる学生ということで、日本語が非常に堪能で驚きました。ということから、私たちは今回の大連訪問において言葉で苦勞することは全くとっていいほどありませんでした。

### 【大連理工大学訪問】

1日目に訪問した材料学院(写真2)では学生に案内してもらい実験装置を中心に見学しました。実験装置は最新のもものが揃っていて、なかには日本製のものも数多くありました。大連の町には、日系企業が多く進出していることから、材料学院の学生の中でも日本の企業に就職を考えている人も少なくありませんでした。みんな目標をもって熱心に勉強していることが分かり、とても刺激を受けました。



写真1 徐亮さん(右)、楊琳琳さん(左)

2日目は日本語学科の授業に参加してもらいました。授業の内容のレベルの高さに驚き、日本人である私たちでさえもちょっと頭を使わなければならないという場面も何度かありました。琳琳さん曰く、今中国では日本語を勉強することがちょっとしたブームとなっているそうです。

### 【食事】

中国への訪問が決まってからずっと楽しみにしていたのが食事でした。一番おいしかったのは2日目に行った四川料理の店で食べた麻婆豆腐でした。日本の麻婆豆腐に比べてとても辛く、スパイシーでした。ただ辛いだけではなく味が良く、すごく気に入りました。初体験だった白酒(バイジュ)ですが、香りがすごく良くてそれに誘われて飲んでみると想像以上の強さにびっくりしました。他にもパンや魚などおいしい料理がたくさんありました。

### 【大連の町】

学生の町、そして世界最大の人口を有する中国の中の大連市大連ということでお昼時間ともなると人や車でごった返していました。道路を渡るにも信号が少ないため苦勞しました。天気が良ければ海岸沿いの景色なども楽しめたのですが、あいにくの雨で今回は残念でした。

### 【まとめ】

4日間という短い間ではありましたが、異国の地で生活したことはとても貴重な体験であり、今回の大連への訪問は一生の宝になると思います。今回の訪問が岩手大学と大連理工大学の親睦に貢献できていたら幸いです。最後にこのような貴重な場を与えて下さった大学の関係者の皆様、そして私たちを常にサポートして下さい下さった大連理工大学の徐亮さん、楊琳琳さんに感謝致します。



写真2 材料学院の学生達と

## 大連理工大学訪問報告書

岩手大学大学院 工学研究科  
金型・鋳造工学専攻  
熊谷 朋也

私達は3月27日から3月30日までの四日間、大連理工大学を訪問し、学生との交流を行ってきました。

私達学生の移動やスケジュール、食事に至るまで、大連理工大学の日本語学科の楊琳琳さんと機械科日本語強化クラスの徐亮さん（写真1）が終始お世話をして下さいました。本報告書としましては学生交流を中心にまとめようと思います。



写真1 楊琳琳さん（左） 徐亮さん（右）

### 一日目

出発日です。盛岡を発ち、大連空港に到着後、大連理工大学の車で大学まで送って頂きました。宿泊施設はビジネスホテルのようで、不便はありませんでした。

### 二日目

午前は材料学院の学生と交流しました（写真2）。今回交流した学生の中に鋳造を専攻されている方はいませんでしたが、装置などを見学し、またそれぞれの大学の卒業後の進路などについて話しました。とても熱心に勉強されており、私達もさらに頑張らなければ、と影響を受けました。



写真2 材料学院の学生と

午後は、琳琳さんら二人の案内で学内を見学しました。高いビルから見渡すと大学の敷地がひとつの町のように広く、また、体育館にボウリング場もあり、驚きの多い時間となりました。

### 三日目（午後は企業の方と合流）

午前は、機械科の日本語強化クラス、日本語学科の学生と交流しました。講義も受けさせて頂きましたが、日本語が想像以上に流暢なことに驚きました。漫画やドラマなど日本の文化にも詳しい学生も多くいました。日本からのお土産（南部風鈴）を賭けたジャンケン（写真3）では大変盛り上がりました。



写真3 日本語学科とのジャンケン

### 四日目

最終日です。空港までの道のりは渋滞していましたが、トラブルもなく帰国できました。

### まとめ

今回の大連理工大学訪問団に参加できたことをとても幸運なことと感じます。大連の学生の熱心に影響を受けたと同時に、これを機会に両大学がさらに情報交換など出来れば、と思います。前々から我々の受け入れを準備して下さいました両大学の関係の方々、そして大連滞在中終始お世話をして下さった学生のお二人に心から感謝したいと思います。